

---

# 小説は私の何... ?

時田一哉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小説は私の何…？

### 【NNコード】

N8445F

### 【作者名】

時田一哉

### 【あらすじ】

文字を読むのが好きな私。でもときどき文字を読みたくないなる私は、どうして読みたくないなるのか考えた。

(前書き)

見たか、お前。  
存分に後悔するがいい。  
ふ  
・  
・  
・

私は本が、小説が大好きである。

ものすごい大好きである。

文字を読むのが大好きである。

でも、ときどき読んでいる時文字を読みたくないくなる。

ものすごい嫌になる。

文字を読むのが好きなのに、なぜか文字を読みたくないなる。

そう思つた私は、なぜ、文字を、小説を読むようになったか思い出した。

そう、あれは好きな人に恋をした時だ。

その好きな人は小説を読むのが好きで、

私もその話題で好きな人と距離を縮めて話そうと思つた。

だから、私は小説を読み始めた。

好きな人が読んでいる小説を。

ラノベを…

そして私は小説を読むのが好きになった、と言いつつも今となって  
いたのだ。

ああ……あああああ……

そうか……そうなのか……

だつだらその好きな人と話してたことは嘘なのか?

『私、小説好きなんだ』

『へえ。君とは気が合ってやうだ』

『今日ね、新しい小説買ったの。』

『あ、これおもしろいよな』

『私、死ぬほど小説が好き！命と同じぐらい大好き！』

…全部…全部…嘘なんだ…

小説は私の何…？

それは、

『彼との距離を縮めるたつた一つの物だつた・・・』

(後書き)

うん?

まあとりあえずいいかな…うん  
なんか気色悪い…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8445f/>

---

小説は私の何...？

2011年1月4日03時19分発行